

令和元年度 山梨県立わかば支援学校ふじかわ分校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	保護者及び関係機関との連携を推進し、「たくましい力」と「ゆたかな心」を持った児童生徒の育成を図る
-----------	--

山梨県立わかば支援学校ふじかわ分校 校長 柳澤 敏

本年度の重点目標	1 児童生徒一人一人の基本的生活力をつける教育活動を推進する
	2 保護者や地域関係機関との連携を深める活動を推進する
	3 安全・安心な学習環境を充実する

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自己評価			
本年度の重点目標		年度末評価(1月23日現在)	
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	児童生徒一人一人の基本的生活力をつける教育活動の推進	授業研究や校内研修を進め、児童生徒の理解、授業改善、教職員の専門性の向上等に努める	研究会の開催状況 研究のまのみの作成
		児童生徒一人一人の障害及び発達段階を適切に把握し、個々の指導上の課題を全職員が共有し、効果的な研究実施方法を検討し、組織的計画的な支援を行う。	個別の指導計画 学部会、職員会議等での共通理解
		児童生徒一人一人の進路を考慮しながら、引き続きキャリア教育全体計画の見直しを行い、キャリア教育の充実を図る。	キャリア教育全体計画 の見直し及び共通理解
2	保護者や地域関係機関等との連携を深める活動の推進	地域の小・中学校との交流及び共同学習ならびに保護者や地域との交流活動を推進する。	交流及び共同学習や 交流活動の実施状況
		HP等を活用して保護者や地域にふじかわ分校の教育活動に関する情報を適切に提供する。	HPの更新状況 学部だより等の発行
		地域の教育・行政と連携し、個別の支援だけでなく、各学校の専門性の向上等を支援するセンター的機能を発揮し、取り組む。またその状況を情報として発信していく。	連携協議会の開催 教育事務所との連携 地域支援だよりの発行
3	安全・安心な学習環境の充実	スクールバスの運行体制や非常災害時における対応等について、保護者や教職員間の共通理解を図り、スクールバスの安全運行に努める。	スクールバス運営委員会 での評価
		危機管理マニュアルを継続的に見直し、非常食や備蓄品の管理を適切に行う。また災害発生に備えた各種訓練内容を検討し実践的訓練を実施する。	非常食等管理リストの 作成 各種訓練の実 施状況
		学校での児童生徒の事故や急病等に備え、医療機関や救急隊員に引き継ぐまでの体制を明確にし、緊急時の対応について訓練を実施する。	緊急時シミュレーション 訓練の実施状況

学校関係者評価	
実施日(令和2年2月17日)	
評価	意見・要望等
4	・少人数教育のメリットを生かし、きめ細かな子ども理解が行われていると思います。小中学部だけの設置校の意識を明確にしていく必要があると思います。 ・児童生徒一人一人の障害および発達段階の把握や、一人一人のキャリアチェックへの取り組みは、将来に向けて効果的であるので、さらに推進されたい。
4	・地域の連携が根付いていると思います。学校が地元の方から大切にされるような存在になってほしいです。 ・学校間や地域交流を通じて、わかばの児童生徒だけでなく地域住民、同年代の子どもにも良い影響を与えていると思います。さらに発展、継続されたい。
4	・立地の問題は、解決が容易ではないですが、管理上検討していく必要があります。 ・交通安全教室の実施、各種災害時の避難訓練等は社会生活上の必須事項です。随時実施されたい。また防災備蓄品は優先すべき事項です。さらに充実、拡充されたい。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。

(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。